

平成 30 年度中野区子ども・子育てアンケート調査の実施について（案）

1 調査の目的

平成 32 年度に予定している「中野区子ども・子育て支援事業計画」の改定にあたり、教育、保育、地域子ども・子育て支援事業等の利用状況、利用希望等を把握する。

2 調査対象及び対象数（対象年齢は平成 30 年 4 月 1 日現在）

- | | |
|-----------------|----------|
| （1）乳幼児（0 歳～5 歳） | 13,473 人 |
| （2）就学児童 | |
| ①小学校 1 年生～3 年生 | 5,522 人 |
| ②小学校 5 年生 | 1,703 人 |

3 調査票発送件数（想定）

- | | |
|---------|----------|
| （1）乳幼児 | 4,500 世帯 |
| （2）就学児童 | 4,500 世帯 |

4 調査内容

平成 25 年度に実施した子ども・子育てアンケート調査や今後国から提示される調査項目を基本とし、必要に応じて、中野区独自の調査項目を追加する。

5 調査方法

調査対象は中野区が抽出し、調査は委託により実施する。

委託内容

- ①調査票の設計
- ②調査の実施（送付～回収）
- ③集計、需要見込みの算出

6 今後の予定（案）

平成 30 年	4 月～7 月	調査票検討、完成
	8 月	調査票印刷、発送
	9 月～10 月	調査実施
	11 月～1 月	集計・分析
	2 月	中間報告

平成 30 年度子ども・子育てアンケート調査の追加項目等について（案）

1 調査対象の拡大

小学校高学年における放課後の過ごし方を把握するため、小学校 5 年生を追加する。

2 追加調査項目（案）

（1）乳幼児調査・就学児童調査共通

①より詳細な子育て世帯の状況把握

（世帯の同居人数、同居者、母親・父親の年齢、世帯の収入等）

②ワーク・ライフ・バランスに関すること

○仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じていること

○今後仕事と子育ての両立が可能な環境を整備・充実していく上で重要と考えられる取り組み

③ユニバーサル・デザインの推進に関すること

○外出しやすい環境にするために必要と感ずること

④子育て情報の周知に関すること

○子育てに関する情報の収集場所・方法

（2）乳幼児調査

①幼稚園の 2 歳児保育事業の利用意向

②身近な場所における一時保育の利用意向

（3）就学児童調査

①これまでの放課後の過ごし方